

平成31年度 社会福祉法人こなんSSN 事業計画書

I 事業方針
<p>平成30年度は、4月からの「障害福祉サービス等報酬改定」が、各事業所にどのような影響をもたらすのか注視する1年となった。3事業所とも基本報酬が下がったため、前年より経営は厳しくなったが、その中でも事業所それぞれの特徴を生かした活動が出来た。</p> <p>また新たな事業として12月1日より自立生活援助事業「流星」を開設。地域で単身生活を送る障害者や、また同居する家族が高齢で支援が見込めない場合に訪問による支援ができ、地域生活を安心して送っていただける支援体制が可能となった。</p> <p>第5期ライフサポート5カ年プランは3年目に入る今年度は、グループホーム・相談支援事業所「大地」・自立生活援助事業「流星」のこれらの体制を整備し、地域生活支援のさらなる充実をはかるとともに、高齢化する利用者への日中活動の場の提供にむけて新たな事業を検討していく。老朽化している風日和の施設整備も引き続き申請をあげていき、法人の将来計画の遂行をしていく。</p> <p>報酬改定後、障害サービス事業所の目的が「就労訓練」「授産収益重視」へと向かってはいるが、法人の創設当初からの利用者主体・利用者のための事業所となることへの理念は変わらず守りながら、各事業所の個性を尊重しつつ事業を進めていく。</p>
II 事業内容
①指定障害福祉サービス事業所の運営
<ul style="list-style-type: none">・グループホーム運営 「Dear House」・就労継続支援B型運営 「シエスタ」「こなんSSN」「風日和」・相談支援事業所運営「大地」・自立生活援助事業所「流星」
②法人事業
<ul style="list-style-type: none">・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）・地域交流事業（共催：サポーターの会）・たより作成（年3回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理・精神保健福祉に関する研修・職員・メンバー研修（研修旅行・セルフヘルプ・ソーシャルワークの基礎研修）・「風日和」の施設整備・余暇活動の一環として利用者を中心とした「一泊旅行実行委員会」を作り、3施設合同で実施
③県の精神保健福祉充実のための新たな社会資源作りに向けた事業
<ul style="list-style-type: none">・GH、大地、流星を含めた地域生活支援体制の整備をはかる・法人施設での障害者雇用を定着させ、雇用の拡大を検討・セルフヘルプグループの育成のための準備をはかる・登録利用者の高齢化にともなう日中支援について、新たな事業展開（生活介護事業等）を検討及び立ち上げ
④その他

平成31年度 グループホーム Dear House 事業計画書

定員11名 職員8名

活動目標		
グループホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。		
活動内容		
①管理・運営		
<ul style="list-style-type: none"> グループホームの管理・運営を行う。 		
②相談・援助		
<ul style="list-style-type: none"> グループホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。 日常生活の相談援助（食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等） 社会生活の相談援助（対人関係・社会資源の利用等） 		
居住施設		
<草津市> <ul style="list-style-type: none"> DearHouse 定員6名 (男性) 和（なごみ） 定員2名 		
<東近江市> <ul style="list-style-type: none"> 陽だまり 定員3名 		

平成31年度 相談支援事業所 大地 事業計画書

職員4名

活動目標	
草津市在住のシエスタ・こなんSSN登録利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。あわせて、相談員の育成、スキルアップをはかり、事業が円滑に遂行できるよう努めていく。	
活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活全般にわたる相談 地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 サービス等利用計画の作成及び評価 訪問等による継続的なモニタリング 前各号に付帯するその他必要な援助 	
サービス種別	
指定特定相談支援事業 (平成26年11月1日指定)	
所在地	
草津市集町160-3	

平成31年度 自立生活援助事業所 流星 事業計画書

職員4名

活動目標

利用者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう。居宅への定期的な訪問を行い、生活状況の確認と必要な情報提供を行う。また各支援機関との連絡調整を行う。

活動内容

- ・居宅訪問による生活状況の確認
- ・日常生活全般にわたる相談
- ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供
- ・自立生活援助計画の作成及び評価
- ・訪問等による継続的なモニタリング

サービス種別

自立生活援助事業 (平成30年12月1日指定)

所在地

草津市集町160-3

平成31年度 就労継続支援B型 シエスタ 事業計画書

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
①作業
<ul style="list-style-type: none"> ・部品組み立て軽作業・畑作業 ・作業内容の充実を検討 ・施設外就労の検討・実施
②喫茶店「茶処ひびき」経営
<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ等の提供 ・製造班による洋菓子の製造 ・販売班による菓子販売 ・新メニュー開発 ・イベント開催（秋祭り協賛） ・PR活動等
③サロン活動
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回：レク&食事会・昼食会（参加型）・シエスタ食堂・スポーツ・ニュースポーツ（年3回） ・年1回：日帰りバス旅行・小グループ活動 ・随時：ドライブ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動
④自主活動
<ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動 ・勉強会 ・法人1泊旅行
⑤生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
⑥就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
⑦啓発活動・ネットワークづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催
⑧障害者雇用
11月中旬より新規採用予定
⑨その他
生活介護事業の検討

平成31年度 就労継続支援B型 こなんSSN 事業計画書

定員20名 職員10名

活動目標

精神障害者を対象として、

- ①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。
 - ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。
 - ③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。
- 以上を目標とする。

活動内容

①作業

- ・清掃作業や古紙回収など出向を中心にしたグループ就労
- ・軽作業（班長制度）
- ・自主製品販売先確保と拡大
- ・農業班をつくり、農作物の年間を通した作業・販売を実施

②サロン活動

- ・月1回：レク&食事会
- ・隔月1回：昼食会
- ・年1回：バス旅行（一泊旅行・日帰り旅行）
- ・随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等
有料・・・買い物、カラオケ、昼食
- ・月2回：健康維持のためのとりくみ（スポーツ・ヨガ・ダイエット）
- ・年1回：施設外研修

③自主活動

- ・クラブ活動（料理、創作等）、クラブ・グループ活動の育成 フードドライブの食材を活用
- ・小グループ活動等自主活動の活性化、レク内容の幅を広げる働きかけを行う
- ・他の作業所の活動を知る取り組み

④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・メンバー対象の勉強会開催（年3回:モノづくりⅡ編）

⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援

⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・地域連絡会（隔年大津圏域と湖南圏域）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・イベント参加

平成31年度 就労継続支援B型 夙日和 事業計画書

定員20名 職員6名

活動目標

精神障害者を対象として、
 ①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。
 ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。
 ③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。
 以上を目標とする。

第5期ライフステージ5カ年プランに基づき、施設整備にむけての準備を整えていく

支援の質の向上のため、職員それぞれが他機関で開催される研修会（勉強会）等に関心をもち、意欲的に参加していくことで、学びや視野を広げ、他機関との交流を深めていく事に努める。

活動内容

①作業

- ・部品組み立てやパソコン入力等の軽作業
- ・グループ就労（大学清掃・洗口液配達）
- ・作業環境の見直し、備品の充実
- ・新たな授産事業の展開を検討（自主製品開発→小物類の試作検討）

②サロン活動

- ・レク&食事会（隔月1回）や季節レク（忘年会・初詣など）は、利用者が主体的に考え参加が増えるよう、実行委員会を作り計画・実施をする
- ・健康レク（月1回 ヨガ）
- ・バス旅行（日帰り・一泊）、小グループ活動（年1回）
- ・散歩、図書館利用、絵画、書道などメンバーそれぞれにあった活動（随時）
- ・外部団体主催のスポーツ大会への参加を検討

③自主活動

- ・小グループ活動
- ・サークル活動（アート、漢字など）
- ・毎朝のラジオ体操、昼休みのウォーキング

④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・食生活や適度な運動など、健康的な生活を営む上で大切なことを学ぶ機会の提供、意識の定着

⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援

⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・他機関にも参加していただく事例検討会や自主勉強会、他施設見学の企画など
- ・歳末たすけあい配分金事業助成金等を活用した地域交流行事の開催
- ・寄付金事業